

令和7年度 第6回 吹田市公共施設最適化推進委員会 議事概要

日時:令和8年(2026年)2月19日(木)午前10時~午前10時30分

場所:吹田市役所 高層棟4階 特別会議室 及び オンライン

出席者:<特別会議室に参集>

辰谷副市長(委員長)、春藤副市長(副委員長)、大江教育長(副委員長)、  
伊藤理事(公共施設整備担当)、山下総務部長、今峰行政経営部長、道場児童部長、梅森福祉部長、  
清水都市計画部長、井田学校教育部長、二宮地域教育部長

<庁内テレビ会議システムにより出席>

岡田危機管理監、大山市民部長、脇寺都市魅力部長、北澤理事(子育て支援センター担当)、  
岡松健康医療部長、道澤環境部長、真壁土木部長、山田消防長

所管:【都市計画部 資産経営室】川本室長、檀野参事、隅田主幹、山崎主幹、梶山主査、保科係員

【児童部 保育幼稚園室】安井参事、木戸主幹、三井主任、坂井係員

案件	吹田市公共施設(一般建築物)個別施設計画の改訂について
【案件概要】	今年度末に改訂を予定している吹田市公共施設(一般建築物)個別施設計画について、パブリックコメントに対する提出意見とそれに対する市の考え方を踏まえ、改訂案について確認するもの。
【所管部の考え】	本市では、これまで整備してきた多くの公共施設が老朽化を迎えており、今後多くの学校施設の建替え時期を迎え大きな財政負担が想定される中、長寿命化や複合化などの対策、官民連携等のほかコストの縮減や平準化などの取組をより積極的に進め、限られた予算の中で将来にわたって質の高い市民サービスを効果的かつ効率的に継続していくことを目指し、本計画の改訂を予定している。
【質疑概要】	質問: 提出意見に対する市の考え方について、幼稚園の統合及び吹田第三幼稚園と東保育園の統合は、集団での学び合いの機会を確保する重要性などがありつつも、様々な事情を考慮すると、すぐには実施できないという理解でよいか。 回答: そのとおりで、引き続き検討が必要と考えている。 質問: 本計画の個別施設の方針として、どのように記載しているか。 回答: 「対策内容とスケジュール」の「短期の取組」欄に「集約等」と記載している。 質問: 集約の方向性は示しているが、提出意見に対しては「検討する」との回答か。 回答: 集約について検討をする必要があることを今回示している。進めるに当たっては状況等を見極めながら集約、施設の再編を慎重に検討する必要がある。  意見: 個々の施設を、より多くの市民にとって有効なものにしていくには、一定、議会及び市民の理解を得られている形を伴わなければ、進めることが難しい。 意見: 公共施設の最適化に当たっては、今後は財政的に厳しくなることもあり、持続可能性や将来性も考えながら、市民理解を得られるような市側の取組姿勢が必要と考える。  意見: この内容で改訂する。
【結果】	当案件について、確認された。